

この町でみんなで作る、あなたの個別の物語

私たちが「いしかわ921在宅ネットワーク」の活動をサポートします！



岩田 章

金沢赤十字病院 院長

医療や福祉は国民の生活を支えるためにあるものです。社会構造や国民のニーズが変化すると、それに合わせて医療や福祉も対応するべきです。日本の社会においては、戦後のベビーブームの時代に生まれた団塊の世代と言われる人たちが75才を超える2025年が、当面の問題です。

高齢者が増加すると病気になる人や介護が必要となる人口も増加し、入院する病床や施設等が必要になりますが、経費や人材などを考えると簡単に解決するものではありません。

厚生労働省は2025年に向けての方策を本年度の診療報酬改定から始めました。すなわち近年、医療関係者の間ではすでにテーマとなっていた「医療・福祉の地域連携」「地域完結型医療」、そして「在宅医療」に厚生労働省も眼を向け始めました。

住み慣れた自宅でも可能な限り医療や介護を受ける事ができる在宅医療は、一病院だけや一施設だけでできる事は非常に限られています。今後ますます地域の連携やネットワークが必要で、いろいろな機関の多職種のスタッフがかわって、一人の患者さんの支えになるきちとしたシステムを構築する事が急がれます。

当院も地域医療・在宅医療を重視し、多くの機関とともに連携を密にして、地域の患者さんたちの支えになりたいと考え、ネットワークの中核としての役割を担っていききたいと思います。

◆三宅 邦明

石川県健康福祉部 部長

近年、高齢化の進展により、寝たきりで通院が困難な高齢者などに対し、在宅医療をはじめ、療養生活全般をサポートする体制の整備が求められています。本県では、平成22年度から石川県医師会が実施する、在宅医療推進事業に対し支援を行っております。「いしかわ921在宅ネットワーク」はこの事業において、在宅医療を担う多職種が連携するモデルチームとして活動されており、本県の在宅医療の推進に大きく貢献いただいているところです。今回、その活動実績が高く評価され、国から在宅医療連携拠点に指定されたものであり、地域の在宅医療における連携の中核として、今後ますます活躍されることを期待しております。

西川 昭彦

石川県介護支援専門員協会 会長

いま進めて行かなくてはならないことは、高齢者の在宅生活を最期まで支えることのできる地域を作っていくことであり、在宅医療の充実と推進が求められています。在宅生活支援の中心となるケアマネジャーとして、多職種連携によるケアマネジメント力を発揮し、「いしかわ921在宅ネットワーク」の活動に協力していきたいと思えます。



どんなことでも… 私たちにお気軽にお声掛け下さい！



西村元一 (代表)
金沢赤十字病院 副院長



河原久美子
医療ソーシャルワーカー



新田敦子
看護師



堂前美栄子
看護師
主任介護支援専門員

いしかわ 9 2 1 在宅ネットワーク

<http://ishikawa921.net>

在宅医療連携拠点事業の実行団体として、金沢南、野々市市で多職種の協働に基づいた、在宅医療の充実と推進のための活動を行っていきます。

◆近藤 邦夫

石川県医師会長

県医師会にとって、これからの在宅医療の取り組みは、大変重要な課題です。高齢社会の急速な進行に対応すべくその受け皿を作っております。この活動が、地域住民や関連職種の方々との連携を深め、患者さん、ご家族が安心できる地域の在宅ネットワークに発展することを願っております。

◆和田 出静子

石川県看護協会 会長

超高齢化が進展し、県民のニーズに応える医療体制の構築が求められるなか、金沢赤十字病院が在宅医療連携拠点事業の指定を受け、「いしかわ921在宅ネットワーク」を立ち上げられたことは大きな意義があります。多職種が協働する在宅医療において看護職の役割が大変重要と考えており、できる限りの支援をしていきたいと思えます。

山下 美津江

石川県医療ソーシャルワーカー協会 会長

医療ソーシャルワーカーは患者さんの療養生活を支援するために、病院内外の多職種の人々と連携し、協働を行ってきました。この在宅医療連携拠点事業で、今まで行ってきた支援がさらに地域に根ざした活動となるよう願っています。

〒921-8162 金沢市三馬2丁目251
金沢赤十字病院内 いしかわ921在宅ネットワーク事務局
tel:076-247-8131(代) 076-280-1030(直)
mail:office@ishikawa921.net

この町でみんなで作る、あなたの個別の物語



ishikawa921.net



10 金沢赤十字病院

いしかわ921在宅ネットワーク

地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

長野県立こども病院だより第23号 発行日:2012年8月3日 発行者:原田 順和
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432

長野県立 こども病院だより

No.23

平成24年8月3日発行

contents

- 医療相談室紹介……………1
- 「たんぽぽのおうち」開設10周年を迎えて……………2
- 在宅医療の取り組み……………2
- ハウス大先輩のその後……………3
- セブリングリカ記念誌紹介……………4
- 機関誌誌面紹介……………4
- ボランティアクル紹介……………5
- 内線紹介(21号)……………6
- 平成24年度新人看護誌寄稿……………6
- 病院の野菜と花畑……………7
- 七夕まつりを創設しました……………7
- 公衆無線LANがご利用できます……………7



長野県立こども病院理念
わたし達は、未来を担う子ども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

医療相談室紹介

医療相談室 赤羽 貞子

相談時間 月・水・金曜日 9:30~16:30

今年の4月に、医療相談室が開設されました。この部屋の役割は、患者さん・ご家族と病院の職員がありのままの気持ちで向き合うことができることを支援することです。

病院という場所では、患者さん・ご家族も病院の職員も平常心ではいられない日常生活が続いています。そんな中で、お互いの間にずれが生じることはあります。そんな時、患者さん・ご家族からは胸のうちをお話いただけるように、職員からは正しくわかりやすくお話しができるように支援し両者の橋渡しをする役割を持つのが「医療相談室」です。

6月末までに、34件の相談がありました。その内容は、千差万別で病院の診療体制や看護に対する要望もありましたが、いろいろな提案、ご意見も多くありました。また、職員からの相談も何件もありました。

看護師としてお世話になっていたこども病院へ4年ぶりに戻って来ました。ここで再び働かせていただけることがうれしくて参りましたが、3ヶ月たっても私自身が迷いの中にいます。そんな心細い私に力を与えてくださ

たのが、ボランティアの皆様や以前からの顔見知りの患者さん、病院職員です。そして新たに知り合った皆様のおかげで相談室が相談室らしく整ってまいりました。

「孝なるかな惟れ孝」という言葉のとおり、宇宙の持っている力で生かされ、人との出会いがあり今の自分の仕事があると感じています。今、人のつながりのありがたさをしみじみ感じて仕事をさせていただいています。

こども病院に関係するすべての方々が、思い煩うことなく自分の持てる力が発揮できるように、患者さんが本当に納得のいく医療が受けられるようにと願って一生懸命働く所存です。

何かが起きたときだけではなく、つらいこと悲しいこと、時にはうれしいこと、「こんな風にしたら良い」という提案など何でも話しに来ていただけるようドアを開けて待っています。



相談の様子

「たんぽぽのおうち」開設10周年を迎えて

特定非営利活動法人あづみのファミリーハウス
代表理事 上條 孝子



式典会食会の様子

2002年4月に長期入院患者家族滞在施設「たんぽぽのおうち」がオープンし今年で10年が経ちました。去る6月30日こども病院北棟会議室において、「10周年記念の会」を開催させていただきました。当日はお忙しい中、原

田病院長をはじめとした病院関係者様、日頃よりたんぽぽのおうちで活動されているボランティアの皆様及び当法人の会員の皆様にご参加いただき、ささやかな昼食会とボランティアの皆様の表彰をさせていただきました。振り返ってみますとあっという間の10年でしたが、皆様のご協力のもと患者家族様に必要とされた10年であったと思います。10年という一つの節目を迎えた今、引き続き安らぎを提供出来るハウスでありたいと思います。

Hospital Guide



医療法人社団 倫生会

みどり病院

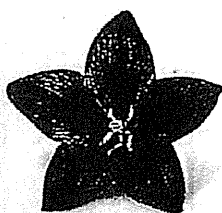
MAHOSHISHI HOSPITAL

病院のご案内



医療法人社団 まほし会

真星病院



K I K Y O K A I
Y u s h i k a i J u k e i k a i

桔梗という花の名のもとに集いし...



桔梗会

◎医療法人裕紫会 ◎社会福祉法人寿敬会

病院のご案内



独立行政法人
国立病院機構



米子医療センター

<http://www.nho-yonago.jp/>



在宅医療講演会

**参加費
無料**

現在日本は、諸外国に見ないスピードで高齢化が進み、中でも、特に美馬市・美馬郡は過疎化、高齢化率が急激に進んでいる地域です。

医療も介護も福祉も充実していると言われるこの地域ですが、自宅で生活したいと願っても、家族の介護力不足、24時間体制の支援の構築が難しく、施設や病院で最期を迎える人がいます。自宅で介護といっても、「何をどうすればよいのか分からない」、「24時間つきっきりは無理！」という声をよく聞きます。

そこで、今回の講演では長年看護師として、高齢者の介護を担ってきた 津田 祐子氏を講師としてお招きし、自宅で介護するポイントや在宅サービスの利用等についてわかりやすくお話をさせていただきます。この機会にぜひ、ご参加くださいませ。

演 題 「在宅介護を考える」 **場 所** マルナカ協町店 2階
うだつフォーラム

講 師 医療法人 芳越会 共生の杜
総括管理責任者
津田 祐子 **参加人数** 先着 60名

日 時 平成24年9月23日(日) **参加費** 無料
講演開始13:00～14:00(1時間程度)

お 申 込 下記申込書にて事前にお申し込みください。
※お申し込みの締め切りは、平成24年9月14日(金)です。

お問合せ 医療法人 芳越会 ホウエツ病院(在宅医療連携拠点事業所)
事務局 ソーシャルワーカー 武田 真紀
TEL.0883-52-1095 FAX.0883-53-9375



講師/津田 祐子 先生
現職/医療法人 芳越会 共生の杜 総括管理責任者
専門/看護師・介護支援専門員
主な著書/「介護記録施設ケアプラン表現文例集」
「介護記録の教科書」「介護記録学校」
備考/第43回創意工夫功労者として文部科学大臣賞受賞



《在宅医療講演会申込書》参加される方は、事前にお申し込みが必要です。
必要事項をご記入の上、以下の宛先までご持参して頂くか、ファックスにてお申し込みください。
▼該当するところにご記入ください。

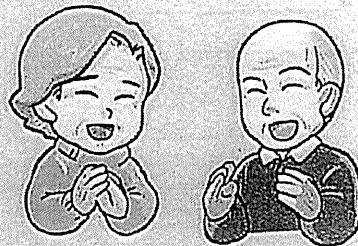
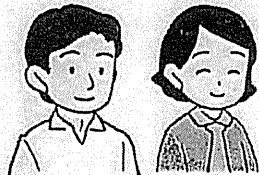
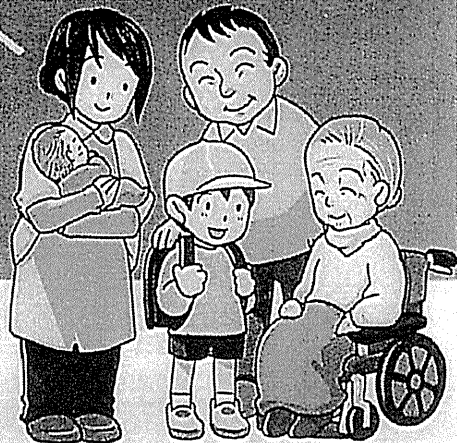
お名前	住 所	連絡先	備 考
	美馬市・美馬郡・その他		
	美馬市・美馬郡・その他		
	美馬市・美馬郡・その他		
	美馬市・美馬郡・その他		

[お申し込み締め切り日]平成24年9月14日(金) ※参加費は無料です。

[お問合せ・お申込み先]〒779-3602 美馬市協町大字猪尻字八幡神社下南130-3

医療法人 芳越会 ホウエツ病院(在宅医療連携拠点事業所)事務局 ソーシャルワーカー 武田 真紀まで
[TEL]0883-52-1095 [FAX]0883-53-9375

ご家族の介護に不安のある方々へ



私にはお父さん、お母さんの他に大好きなおじいちゃんとおばあちゃんがいるの♪

いつも笑顔で優しく遊んでくれるおばあちゃんと



物知りで元気いっぱいのおじいちゃん



ある日のこと・・・(漫画形式)

case1

あんなに活発だったおじいちゃん...

急に脳の病気になるってしまって手や足が思うように動かなくなっちゃった。

そのせいで自力でご飯やお風呂やトイレを今まで通りに終わらせることができないの...

case2

あんなに記憶力がよかったおじいちゃん...

最近物忘れがひどくなり、同じことを何度も繰り返したり、いつも何かを探している。

いつか私のことも忘れられるのかな...

case3

元気な時はいつも遊んでくれていた優しいおばあちゃん...

最近立つ力が弱くなったみたい。歳のせいなのかな...

車椅子生活になってから元気がないし、怒りっぽくなってきた気がする...

平成 24 年度在宅医療連携拠点事業
(玉名郡市医師会受託事業)

玉名地域保健医療センター 医療連携室の活用のご案内

玉名地域保健医療センターは玉名郡市医師会立の病院として地域に根差した医療を実践しています。また同時に開放型病院として医師会会員の先生方にとってはセンターの機器・人材も共同利用できる点が大きな特徴です。今回その特徴を活かして連携の窓口である医療連携室を積極的にご活用いただきますようご案内申し上げます。

連携室室長 赤木 純児

《具体的なご活用例として》

- ①会員の先生方で患者さん・ご家族より介護・福祉に関する相談があった際。
→医療センター連携室をご紹介下さい。診療所に出向きまして患者さん・ご家族の御相談に応じます。必要に応じで地域包括支援センターや介護支援専門員等と連携してご対応いたします。
- ②熊本市内の医療機関に入院・転院された後の在宅医療に関するご相談窓口として
→熊本市内の大きな医療機関に入院するとその後の療養などで複数の医療機関を転院するなか、元々のかかりつけ医などの情報が不明となる場合も多くあります。熊本市内の医療機関連携室と連携し、患者さんらが安心して玉名の地で在宅療養を行えるよう支援いたします。
- ③多職種連携に関する相談・研修会の希望など
医師のとのコミュニケーションの取り方や多職種連携に関する研修会などのご希望があった場合、関係機関や団体と調整を図り研修会などを共同で企画・実施します。
- ④出前講座の実施
地域の公民館における在宅医療などに関するテーマでの講演依頼があった場合、内容を協議して医師や医療センター職員が出前講座を行います。
→実施例) 医療機関の上手な利用の仕方 ～病院のあれこれ～
を毎年通所サービスの地域交流会でMSWが講演

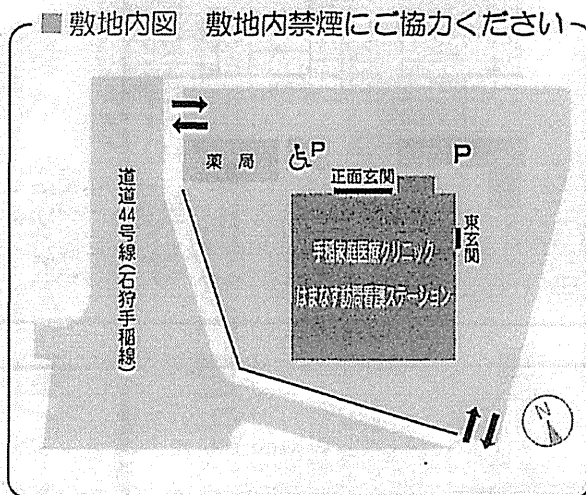
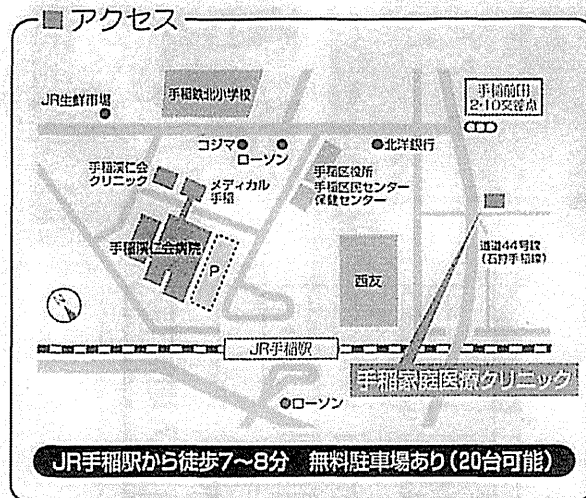
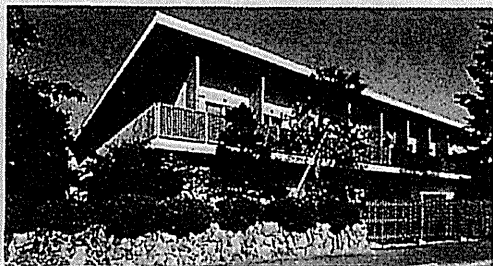
上記内容に関するお問い合わせは裏面をご参照下さい。

お見舞いの方へ

- 大勢での面会や体調の良くない方は、ご遠慮ください。
- 売店やレストランはございませんので近隣の施設をご利用ください。

その他

- 面会時間
10:00~22:00 (付き添われるご家族は除く)
- 敷地内禁煙
診療所の敷地内は禁煙です。
- 駐車場
入院患者さま専用の駐車場はございません。
可能な限り公共交通機関をご利用ください。
- 携帯電話
院内でのご利用は、他のご利用者の方の迷惑にならない範囲で使用可能です。
- ペットの面会について
他のご利用者の方のご迷惑にならない限り、個室病室内での面会は許可しております。



※2F病棟に来られる方は東玄関より入り、エレベーターにて2Fにお越し下さい。

医療法人 溪仁会 手稲家庭医療クリニック

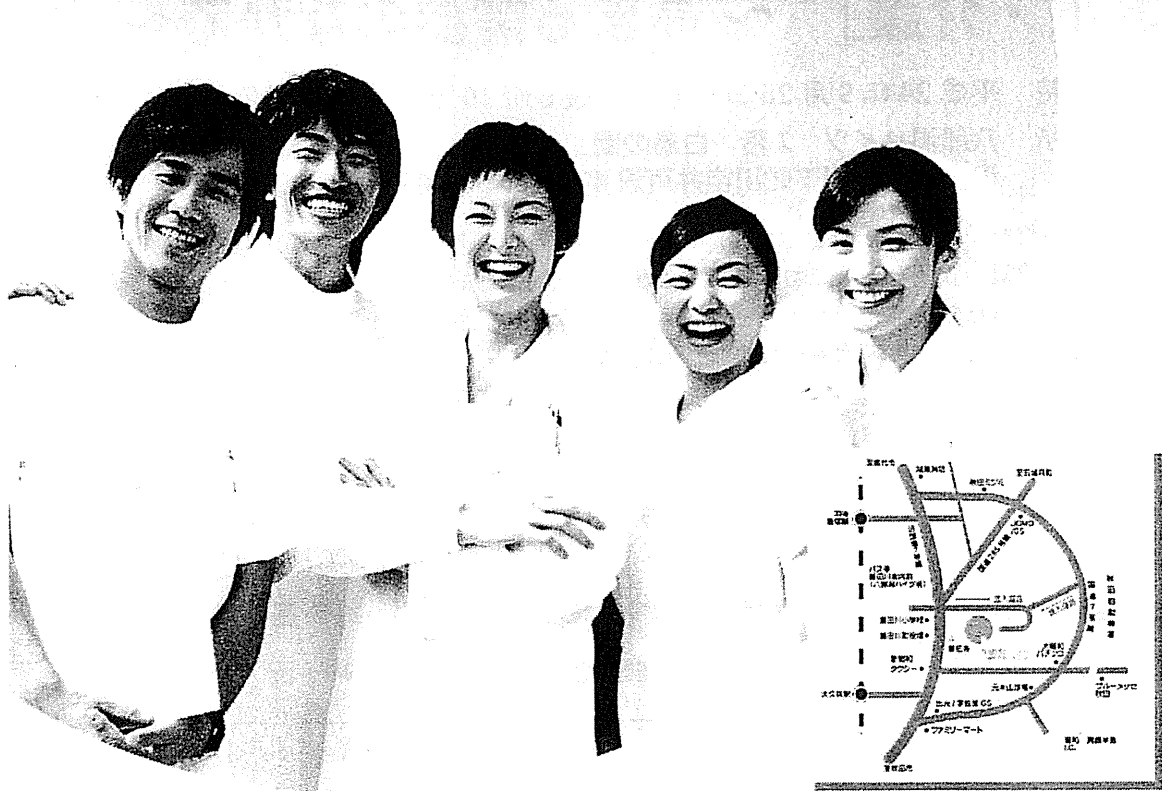
入院のご案内



〒006-0812 札幌市手稲区前田2条10丁目1番10号
 代表電話 (011) 685-3920
 病棟直通 (011) 685-3918
 F A X (011) 685-3921
<http://www.keijinkai.com/teine-karinpa>

「在宅医療・介護」が高まる需要のなかで

在宅医療連携拠点事業「潟上・南秋けあねっと」
第1回多職種合同研修会



日時 平成24年9月28日(金)
午後6時30分～(入場無料)

場所 八郎潟ハイツ 2階 白鳥の間
潟上市飯田川下虻川字井戸沢 41 TEL 018-877-3011

特別講演 安東いつ子氏 (別府市医師会 訪問看護ステーション 管理者)
テーマ【在宅医療連携拠点事業～私たちこんなことしてます～】

資源マップ 医療・介護の資源マップを
当日各事業所へ配布予定

主催：小玉医院 在宅医療連携拠点事業所 (<http://www.akita-carenet.com>)
潟上市昭和大久保字街道下 96 番地 8 Tel 018-877-2551 Fax 018-877-7727

後援：男鹿市南秋田郡医師会、男鹿市南秋田郡歯科医師会、秋田中央薬剤師会、
男鹿・潟上・南秋圏域老人福祉施設連絡協議会、秋田県介護老人保健施設連絡協議会、
秋田県中央地区介護支援専門員協会、湖東総合病院、藤原記念病院、杉山病院



緩和ケア科の医師や地域の医師が病気や治療、症状への疑問や相談に応じます

自宅での療養生活上の不安や悩みについて看護師にお気軽にご相談ください



医療費のことや様々な制度に関することは医療ソーシャルワーカーにご相談ください



緩和医療科
木下寛也医師

独立行政法人

国立がん研究センター東病院

千葉県柏市柏の葉6-5-1

電話:04-7134-6932

患者・家族支援相談室



病院長
岩井直路医師

松戸市立福祉医療センター

東松戸病院

千葉県松戸市高塚新田123-13

電話:047-391-5500

保健福祉医療室



院長
川越正平医師

医療法人財団千葉健愛会

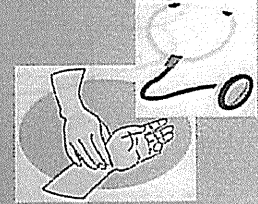
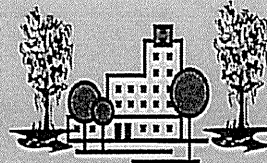
あおぞら診療所

千葉県松戸市緑ヶ丘2-357

電話:047-369-1248

医療ソーシャルワーカー

地域連携トライアングルくまつど

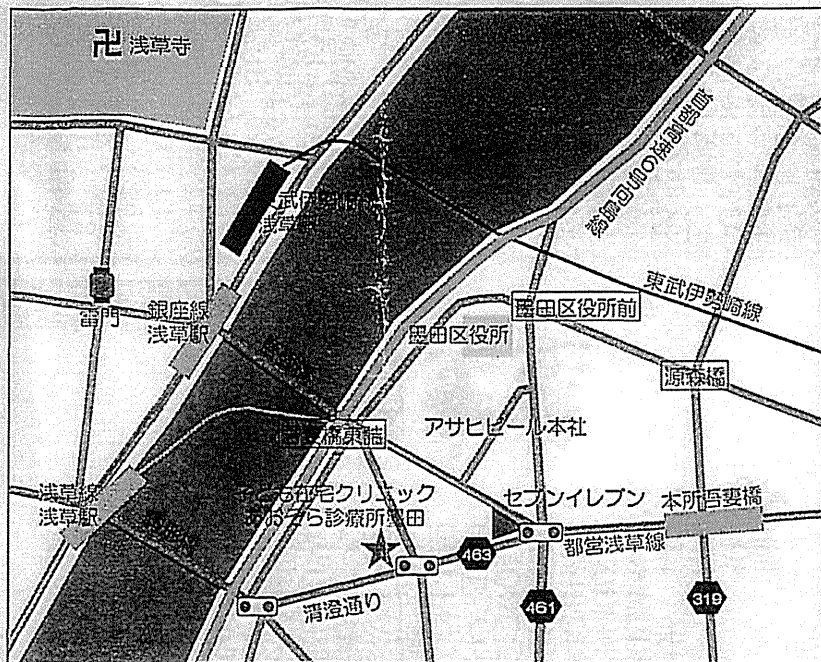


“地域連携トライアングル”とは

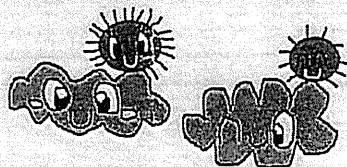
「がん治療を行う病院」だけでなく、「緩和医療科」「地域の病院」「地域の診療所」の3か所が連携体制を整えました。各医療機関には責任者としての医師に加えて看護師、医療ソーシャルワーカーを担当者として配置しています。

3か所の医療機関のどこに相談していただいても結構です。必要に応じて他の2か所の医療機関と緊密に連携し最適な医療機関で切れ目のない医療やケアを提供できるよう対応いたします。

交通のご案内



- 都営浅草線本所吾妻橋駅より徒歩5分
- 東京メトロ銀座線、都営地下鉄浅草線、東武伊勢崎線浅草駅より徒歩5分

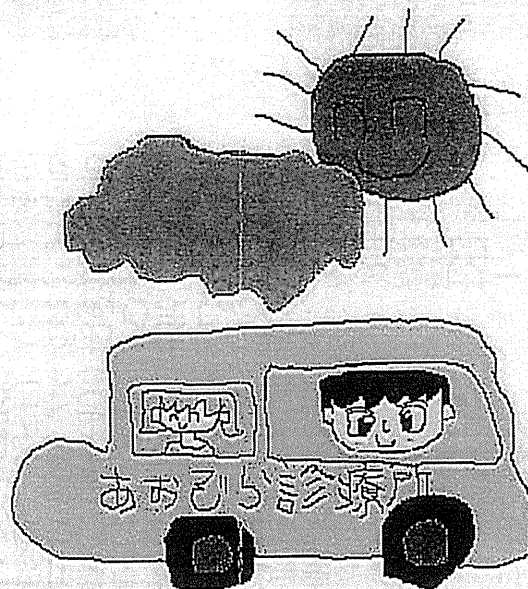


● ご相談受付時間 ●

月～金曜日 午前9時～午後5時

訪問診療・訪問看護のご案内

当院ではお子さまのご自宅での診療を積極的に行っております。



子ども在宅クリニック
あおぞら診療所墨田

〒130-0001

東京都墨田区吾妻橋1-9-8 Humanハイム101

TEL 03-6658-8792 FAX 03-6658-8793

URL <http://www.aozora-clinic.org/>

ひらつか在宅医療 連携拠点事業

医療と介護が連携し、在宅医療・療養支援を
すすめることを目的とした厚生労働省のモデル事業です

1. 退院支援

入院中の方が、ご自宅で療養したい
とき、病院チームと在宅チームが
連携してスムーズに退院できる
体制づくりを支援します。

2. 日常の療養支援

ご自宅で療養中、医療と介護に関わる
すべての職種が協力し、
ご本人やご家族が安心して
暮らせるように支援します。



3. 急変時の対応

自宅療養の方の病状が悪化した
ときに、速やかな対応ができるよう、
病院チームと在宅チームの
連携づくりを支援します。

4. お看取り

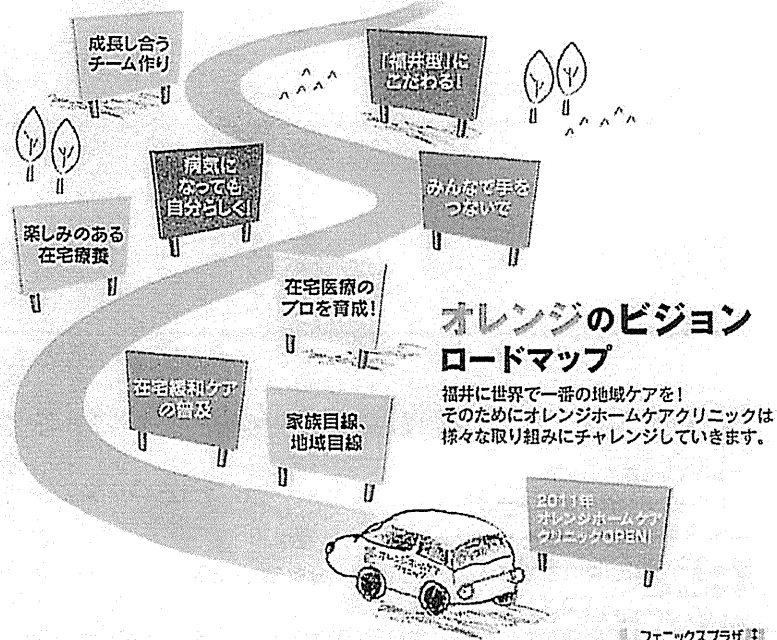
住みなれた自宅や施設など、
療養者が望む場所で、おだやかな
終末期を過ごすことのできる
地域づくりを支援します。

お問い合わせ先

ひらつか在宅医療連携拠点事業所

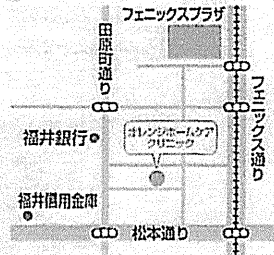
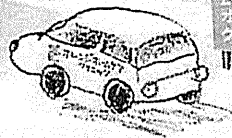
TEL:080-8710-3457(平日9:00-17:00) FAX:0463-50-5688

住所:〒259-1206 平塚市真田 2-6-27 湘南真田メディケアセンター内



オレンジのビジョン ロードマップ

福井に世界で一番の地域ケアを!
そのためにオレンジホームケアクリニックは
様々な取り組みにチャレンジしていきます。



〒910-0018 福井県福井市田原1丁目3-5
TEL.0776-21-3333 FAX.0776-21-3353
<http://orangeclinic.jp>
info@orangeclinic.jp

診療日：月曜～金曜 在宅療養支援診療所
診療時間：9時～17時 (緊急往診は24時間365日対応)

◎ まずはお気軽にお電話ください

Be Happy! ものがたり

あなたの物語に、そっとよりそう。



**オレンジホームケア
クリニック**
Orange Home-Care Clinic

在宅医療連携拠点事業所

いぶんいぶん

何でも相談伺います

在宅医療・介護に
ついて

☎ 271-3750

家族を自宅に退院させたいけど、
手続きは？
何を準備したらいいの？

自宅にしながら
受けられるサービスって
どんなものがあるの？

飲みやすい食事の作り方や、
退院後の栄養管理のこと、
薬のことって誰に聞けばいいの？

ボランティアを
やってみたいけど...

病院を退院した後の
かかりつけ医がない！

在宅医療って、
どのような人が対象なの？
夜間も対応してくれるの？

がん患者・家族の
相談できる場所はあるの？

リンパ浮腫で
困っています...

住み慣れた
家庭や地域で安心して
療養生活を送りたい。

一人暮らしで自宅療養中、
生活の手伝いをしてほしい、
近くに通える施設はない？

日頃から身体的に
不安なことがあるけれど...
どこに相談するの？

歯医者さん
にも繋がります！

私たちは、地域の皆様と医療・福祉・介護を繋がります。

🏠 (在宅) ・ ❤️ (こころ) ・ 😊 (歯) の事、

お気軽に何でもご相談下さい。

総合在宅医療クリニック

地域連携における課題一覧

大項目	中項目(項目)	項目グループワークで出されたカード	項目グループワークで出されたカード			
A. 在宅医療を支える人が不十分	1. 在宅医療に従事する専門職が不足しており、その確保の増加に対応できない。	マンパワーの不足	食事に関してアドバイスできる管理栄養士が少ない	医師が不足		
		2. 患者・家族のニーズに合うことができるよう在宅医療に従事する専門職の能力をより高める必要がある。	専門マンパワーが足りない 連絡困難なマンパワーの不足 研修医が2人不足(研修医) 研修医から研修生になる研修生が不足(研修生が不足)	医師が不足している 医師が不足している 医師が不足している 医師が不足している	医師が不足している 医師が不足している 医師が不足している 医師が不足している	
	B. 在宅医療を支える各専門職の体制が不十分	3. 患者・家族のニーズに合った施設・病院の受け入れ体制が不十分である。(例えば、医療依存度の高い患者、レスパイト入院、若狭施設、薬局など)	医療依存度の高い方が利用できるショートステイの施設が不足している	入居施設の数が足りない	国の制度があまり多過ぎて早急に調整ができないことがある	
			レスパイト入院が難しい 在宅の医師が少ない	(入居)条件が合わない 施設・重篤な医療従事者の社会福祉が少ない 在宅医療者の負担(訪問診療)が軽微でも無い、もともと少ない	不足している 不足している 不足している 不足している	不足している 不足している 不足している 不足している
		4. 24時間365日在宅医療を提供する体制や工夫が不十分である。	24時間対応のサービスが少ない 医師の負担が大きい	夜間・夜間に医師にヘルパーさんが増えてくれない 夜間に分業・看護士をしてサービスが少ない	夜間の分業不足	
			5. 嚥下、栄養、口腔ケアなど、「食べること」に関しての体制が整っていない。	嚥下障害の患者の方の食事に関する知識が少ない 嚥下障害の方の嚥下指導が足りない 在宅で嚥下に関する対応が不十分である	食事の指導の知識が少ない 嚥下指導の知識が少ない 嚥下指導の知識が少ない	嚥下指導の知識が少ない 嚥下指導の知識が少ない 嚥下指導の知識が少ない
		Q. 在宅医療を支える社会・地域の体制が不十分	6. 経済的問題に伴う在宅医療の対応者が少ない。	医療費の負担に負担が大きい 生活費の負担が大きい	医療費が足りない 生活費が足りない	医療費が足りない 生活費が足りない
				7. 患者を支える介護力が不足していたり、家族の協力が得られない。	介護力が足りない 介護力が足りない 介護力が足りない	介護力が足りない 介護力が足りない 介護力が足りない
	D. 在宅医療を支える専門職の体制が不十分	8. 経済的問題に伴う在宅医療の対応者が少ない。	医師の負担が大きい 医師の負担が大きい	医師の負担が大きい 医師の負担が大きい	医師の負担が大きい 医師の負担が大きい	
			9. 在宅医療を支えるには現状の介護保険制度では不十分である。	介護保険制度が不十分である 介護保険制度が不十分である	介護保険制度が不十分である 介護保険制度が不十分である	介護保険制度が不十分である 介護保険制度が不十分である
B. 各機関間の連携が不十分である。		・自治体の連携	自治体の連携が不十分である 自治体の連携が不十分である	自治体の連携が不十分である 自治体の連携が不十分である	自治体の連携が不十分である 自治体の連携が不十分である	
			・医師との連携	医師との連携が不十分である 医師との連携が不十分である	医師との連携が不十分である 医師との連携が不十分である	医師との連携が不十分である 医師との連携が不十分である
C. 地域連携		・歯科医師との連携	歯科医師との連携が不十分である 歯科医師との連携が不十分である	歯科医師との連携が不十分である 歯科医師との連携が不十分である	歯科医師との連携が不十分である 歯科医師との連携が不十分である	
			・相談機関	相談機関との連携が不十分である 相談機関との連携が不十分である	相談機関との連携が不十分である 相談機関との連携が不十分である	相談機関との連携が不十分である 相談機関との連携が不十分である
E. 在宅に關する制度・情報提供が不十分		11. 介護保険制度も含め、在宅医療に関する認識、理解が不十分である。	在宅医療に関する認識が不十分である 在宅医療に関する認識が不十分である	在宅医療に関する認識が不十分である 在宅医療に関する認識が不十分である	在宅医療に関する認識が不十分である 在宅医療に関する認識が不十分である	
			12. 専門家と患者・家族の間にずれと差がある。	専門家と患者・家族の間にずれと差がある 専門家と患者・家族の間にずれと差がある	専門家と患者・家族の間にずれと差がある 専門家と患者・家族の間にずれと差がある	専門家と患者・家族の間にずれと差がある 専門家と患者・家族の間にずれと差がある
F. 関係作り、社会資源の利用ができない		13. 相談場に関する情報が少ない	相談場に関する情報が少ない 相談場に関する情報が少ない	相談場に関する情報が少ない 相談場に関する情報が少ない	相談場に関する情報が少ない 相談場に関する情報が少ない	
			14. 専門職の意図にも問題がある。	専門職の意図にも問題がある 専門職の意図にも問題がある	専門職の意図にも問題がある 専門職の意図にも問題がある	専門職の意図にも問題がある 専門職の意図にも問題がある
	15. 口腔ケアに関する関係、関係が不十分である。	16. 遠隔的な関係構築に関する関係、関係が不十分である。	口腔ケアに関する関係、関係が不十分である 口腔ケアに関する関係、関係が不十分である	口腔ケアに関する関係、関係が不十分である 口腔ケアに関する関係、関係が不十分である	口腔ケアに関する関係、関係が不十分である 口腔ケアに関する関係、関係が不十分である	
			17. 地理的距離の問題がある。	地理的距離の問題がある 地理的距離の問題がある	地理的距離の問題がある 地理的距離の問題がある	地理的距離の問題がある 地理的距離の問題がある
	18. 利用者と関係構築が難しい。	19. 利用者と関係構築が難しい。	利用者と関係構築が難しい 利用者と関係構築が難しい	利用者と関係構築が難しい 利用者と関係構築が難しい	利用者と関係構築が難しい 利用者と関係構築が難しい	
			20. 利用者と関係構築が難しい。	利用者と関係構築が難しい 利用者と関係構築が難しい	利用者と関係構築が難しい 利用者と関係構築が難しい	利用者と関係構築が難しい 利用者と関係構築が難しい

嚥下障害チェック表

当てはまるものがあるか、印をつけましょう！

- から食べ物がこぼれる
- 硬い食べ物が噛みにくい
- 鼻から食べ物が出てくることがある
- 食後に食べ物が口の中に残っている
- 食べ物の味や温度が分かりにくい
- 飲み込みにくい
- 食事や水分でむせる(食事中、食後、夜間、いつも)
- 痰が増えた
- 声がかすれる(時間帯、食事中、食後、いつも)
- 食べ物が喉の奥で詰まる感じがする・または痛む
- 食事をすると疲れる
- 食欲がない
- 体重が減った



※チェック項目にひとつでも当てはまった方については早めに受診することをお勧めします。(内科・歯科)

わかりやすい
在宅医療



公立森町病院は国がすすめる「在宅医療連携拠点」モデル事業の病院です。

公立森町病院

平成24年度 厚生労働省 在宅医療連携拠点事業

第1回 矢田川ネット 在宅医療キャンペーン



現在、厚生労働省は施設中心の医療・介護から、住み慣れた生活の場において
必要な医療・介護サービスが受けられる社会へシフトするため、
「地域包括ケア」の仕組みづくりを進めています。

地域包括ケアとは何か、また地域包括ケアでの在宅医療・介護の役割そして連携について、
また生活の場における療養とご家族の介護についてご紹介させていただきます。

ぜひご参加ください。

日時 平成24年9月29日(日) 13:30～16:30

場所 名古屋大学医学部保健学科(大幸キャンパス) 東館4F大講義室
(名古屋市東区大幸南1の1の20)

PROGRAM

13:30～13:45

開会挨拶

前田 憲志(大幸砂田橋クリニック 院長)

座長: 前川 厚子(名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

13:45～14:35

愛知県における地域包括ケアシステムに
向けた取り組み

高橋 昇(愛知県健康福祉部 医療制度改革監)

14:35～15:35

在宅医療に欠かせない「医療と介護の連携」

後藤 克幸(中部日本放送(CBC) 論説室 解説委員)

15:35～15:50

休憩

15:50～16:30

在宅医療と家族介護・・・療養者家族の立場から

日高 敏(日本赤十字社 血液事業部)

主催 平成24年度 厚生労働省在宅医療連携拠点事業「矢田川ネット」

〒466-8603 名古屋市東区大幸南1の1の20 TEL:052-5582-5519 FAX:052-725-7628 E-mail:teamzaitaku@gmail.com